

様式1

# 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |   |      |    |
|----------|---|------|----|
| 参加議員     | 近松恵美子   |      |    |
| 日時       | 平成28年4月24日(日)<br>午後1時30分～午後4時30分  |      |    |
| 場所       | ハロー貸会議室代々木  | 参加者数 | 1名 |
| 研修(研究)事項 | ドイツと欧州と日本のホリスティック医療<br>ドイツのホリスティックドクター講演会   |      |    |
| 概要及び所見   | <p>現代医学は、病因を曖昧にして対症療法的な治療をするので、治癒困難が当たり前のようにになってきているが、講師は中国伝統医学やアーユルベーダの研究を通して、5大元素のバランスの乱れが病気の原因であるとその理論を話された。</p> <p>また、この思想が欧州に広まらなかった理由として、「自分で自分の体を治せるようになると人は神・教会から離れてしまう」ことを恐れて、自然療法の使い手であった魔女を生きたまま焼くなど魔女狩りをした。そこで、東洋で生まれた5大元素の考えはギリシャで潰され、西洋には広まらなかったと話された。</p> <p>今では西洋では植物療法が広がってきており、日本は西洋医学一辺倒であることに關して、質問したところ、「30-40年前にドイツでは、今の医学がおかしいと気が付いた一般の人の声があがり、メディアが市民の力になった。すごい運動がおこり病気の原因もわからないで治療するのはおかしいのではないかと指摘され、医師も考え直した。それから医師も鍼灸やホメオパシーなどを勉強し始めた。日本のメディアは自由ではない。本当のことを言わなくなってしまった。教師や政治家のいうことを簡単に信じないで、何事も自分で考えることが大切。それでもメディアの洗脳社会の中で、おかしいと気づく人は増えてきた、と語った。同感である。</p> |      |    |

様式1

## 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |   |      |    |
|----------|---|------|----|
| 参加議員     | 近松恵美子   |      |    |
| 日時       | 平成28年5月21日(土)～平成28年10月15日(土)<br>午後1時～午後4時   |      |    |
| 場所       | 宮司コミュニティセンター及び畠   | 参加者数 | 1名 |
| 研修(研究)事項 | 無肥料栽培セミナー   |      |    |
| 概要及び所見   | <p>女性にも人気がある、岡本よりたかさんのセミナーとあって、どのように「農」を伝えているのか、リンなど肥料成分が輸入困難になったときに、無肥料栽培が注目を浴びると言われている今日、その実態を知りたくて参加した。</p> <p>微生物の働き、雑草のメッセージ、虫の役割、月、風など自然の働きなど6回の講座で総合的に説明された。また、プランター栽培の実習では、コンパニオンプランツの活用などより自然に近い環境で栽培することが大切と話された。</p> <p>自然農法には種々の考え方、手法があるが、共通点も多い。</p> <p>シルバー世代が増えている自然豊かな玉名市でこそできる、まちづくり、というものがあるのではないかと思う。</p> <p>野菜づくりは、自然と触れ合うことで元気がみなぎり、また作物の収穫を通しての喜びも大きい。さらに難しい課題に取り組むからこそ、成長する喜びを感じることもできる。</p> <p>このような奥が深いセミナーを、玉名市でも取り組んではどうかと思う。今の生涯学習は刹那的なものに偏ってはいないだろうか。6回シリーズで、高額な参加費にも関わらず、参加された方々のお顔を拝見しながら、市民は、役所が考えているより賢いのだと思った。</p> |      |    |

様式1

# 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |   |      |    |
|----------|---|------|----|
| 参加議員     | 近松恵美子   |      |    |
| 日時       | 平成28年8月1日(月)<br>午前10時～午後5時  |      |    |
| 場所       | アットビジネスセンター(東京都)  | 参加者数 | 1名 |
| 研修(研究)事項 | 質問力アップ講座<br><br>地方議会総合研究所主催、議員、職員のための講座であり<br>講師は、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏であった。<br><br>自治機構としての自治体議会<br>日本の近代化に伴い、追いつけ追い越せの時代は幸せのモデル<br>があり、正解があったが、今の時代は、正解がない。だからこそ<br>議論の必要性がある、と「よき決断を支える市民参加の発話と可<br>視化のツール」について実習を交えてのお話しがあった。                                       |      |    |
| 概要及び所見   | 質問力を高め、議会力に活かす<br><br>監査機能をもった監査質問なのか、政策提案機能をもった政策<br>提案質問なのかを意識することに加えて、論点を絞り具体化する<br>方法についてなど機能する一般質問についての講義があった。また<br>議員間連携、追跡質問など「機能する一般質問」のための取り組みについてお話ししがあった。<br><br>市民との対話については、改善すべきものがあり有益な研修となっ<br>たが、一般質問では、執行部も市民目線の市政を行うにあたって、真摯に議員の発言に耳を傾ける必要があると思う。 |      |    |

様式1

## 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |  |      |    |
|----------|--|------|----|
| 参加議員     | 近松恵美子  |      |    |
| 日時       | 平成28年9月10日(土)～平成28年9月11日(日)<br>午後1時～午後0時30分  |      |    |
| 場所       | 城山観光ホテル(鹿児島市)  | 参加者数 | 1名 |
| 研修(研究)事項 | 日本統合医療学会九州ブロック学術大会   |      |    |
| 概要及び所見   | <p>特別講演では、厚労省より統合医療企画調整室長より、国としても統合医療推進に向け議論を重ねているとのことであった。あまりにも多くの代替医療があるなかで、エビデンスをどのように示していくかが大きな課題となっているが、ヘルスケアにおいても、統合医療の考えを導入していくことが求められると思う。</p> <p>自治体からは、南さつま市の市長が健康元気都市宣言をされたことで、「ホリスティックヘルスアカデミー出前講座」の活動について発表された。健康寿命を延ばすための施策は西洋医学に基づくものだけに限らず、視野を広くもち取り組む必要があると思う。</p> <p>一般演題では、玉名地域保健医療センターも「アロマセラピーによるがん特有の心理症状の改善」の取り組みを発表された。公立玉名中央病院は、統合医療についての理解、認識がなく残念に思っているが、せめて玉名地域保健医療センターから、玉名の医療が変わってくれるなら、と期待している。</p> <p>最後に、医師を中心となって統合医療を進めていく、という発言に対し、地元出身の尾辻秀久参議院議員が、このような考えでは、統合医療は期待できない、ときっぱりと言われた。政治家として大したものだと大変感銘を受けた。</p> |      |    |

様式1

# 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |   |      |    |
|----------|---|------|----|
| 参加議員     | 高村 四郎、松本 憲二、内田 靖信、近松 恵美子  |      |    |
| 日時       | 平成28年10月19日(水)～平成28年10月21日(金)<br>午前7時22分～午後8時30分  |      |    |
| 場所       | 静岡県静岡市グランシップ  | 参加者数 | 4名 |
| 研修(研究)事項 | 第11回全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡   |      |    |
| 概要及び所見   | <p>大森 彌 氏(東京大学名誉教授)による基調講演<br/>「二次代表制と議会の監視機能」<br/>パネルディスカッション<br/>「監視権の活用による議会改革」<br/>(コーディネーター)<br/>江藤 俊昭 氏 山梨学院大学大学院研究科長・教授<br/>(パネリスト)<br/>斎藤 誠 氏 東京大学大学院法学政治学研究科教授<br/>土山 希美枝氏 龍谷大学政策学部政策学科教授<br/>谷 隆徳 氏 日本経済新聞編集委員兼論説委員<br/>栗田 裕之 氏 静岡市議会議長<br/>課題検討<br/>「監視権を如何に行使すべきか」<br/>(コーディネーター)<br/>佐々木 信夫氏 中央大学経済学部教授<br/>(事例報告者)<br/>佐賀 和樹 氏 藤沢市議会前副議長<br/>井上 直樹 氏 和歌山市議会議会運営委員会委員長<br/>嶋崎 健二 氏 日田市議会議長</p> |      |    |

(全国市議会議長会研究フォーラム in 静岡 所見)

地方が衰退していくなかで、また、地方分権改革に向かって議会の役割が期待されるなかでの、研究フォーラムであった。

それぞれの演者が議会の監視機能が果たされているのかを問うていた。机上の空論ではないかと反論したくなる場面もあるが、このようなセミナーの積み重ねで、玉名の議会も変わりつつあると思う。識者の講演を聞きながら、玉名市議会はそれなりに改革が進んでいるが今後取り組まなければならないのは議員間討論であると感じた。

様式1

## 研修(研究)報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

|          |  |      |    |
|----------|--|------|----|
| 参加議員     | 近松恵美子  |      |    |
| 日時       | 平成29年3月23日(木)<br>午前11時～午後4時  |      |    |
| 場所       | 野外保育センター(熊本市)  | 参加者数 | 1名 |
| 研修(研究)事項 | 野草学習会  |      |    |
| 概要及び所見   | <p>野草研究家の山下智道さんを招いて的一般対象のセミナーでした。玉名市においても野草でまちおこしを、と力を入れていますが、市民への広がりがないことから、若い人を惹きつけている山下さんの指導方法を知るべく参加した。</p> <p>「野草の効能は考えないほうがよい。」この言葉は、私にとっては、新鮮な響きであった。効能を売りにしないからこそ、愛好者を限定しないで済むのである。また、所詮食べ物は美味しい、楽しいから始まるべきであると思う。</p> <p>講座では、どこの庭先にでもある野草を次々と実物を見せながら紹介し、食べ方を説明してくださった。薬草、と聞くとどこかで採取しなければならない、と手が届かないものと思って諦めてしまうが、庭先、道路わきのものが食べられると知るなら、雑草を見る目も違ってくる。</p> <p>野菜のミネラルが激減して健康障害が蔓延している昨今、野草を食することは、心身の健康に非常に役立つものと思われる。</p> <p>現代人は、食べ物はスーパーで調達するものと思い込んでいるが、自然の恵みが足元にあることに気付き、自然を大切にする気持ちを醸成していくことこそ、健康への第一歩であると感じた。</p> |      |    |

様式 2

## 先進地（現地）調査報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

|        |   |
|--------|---|
| 調査議員   | 高村四郎、内田靖信、松本憲二、近松恵美子  |
| 日時     | 平成28年10月19日（木）～平成28年10月21日（金）<br>午前7時22分～午後8時30分  |
| 調査先    | 三重県鳥羽市役所  |
| 調査事項   | 議会改革の取り組み、議会活性化及び先進的取り組みについて  |
| 調査先面会者 | 鳥羽市議会副議長 井村 行夫 氏<br>鳥羽市議会事務局 [REDACTED]<br>鳥羽市議会事務局 [REDACTED]  |
| 概要及び所見 | <p>鳥羽市議会では、平成21年7月より議会基本条例策定委員会及び議会基本条例策定幹事会で議論し、平成22年第4回定例会において可決制定。</p> <p>平成23年5月から会派制をとらないことを申し合わせ、又立候補制による正副議長選挙の実施（インターネットで所信表明を放送）を開始。</p> <p>平成26年5月から通年会期採用。同年12月に鳥羽市議会災害時行動計画を策定。平成27年度交付分の政務活動費領収書等のHP公開と議会改革に意欲的に取り組まれている。</p> <p>また、鳥羽市議会政治倫理条例の中に議員の納税証明書添付の項目を設け議会広報誌に掲載している。</p> <p>議会報告会・意見交換会・市議会に関するアンケート調査なども実施されている。</p> <p>(三重県鳥羽市：議会改革の取り組みについて 所見)<br/>鳥羽市議会は、市民への情報発信という意味での議会改革が進</p> |

んでいた。開かれた議会、というスタンスも大切であるが、議会人として一番大切なのは、地域のリーダーとしての先見性、人間を洞察する力、専門性を深めて市民と触れ合って政策を提言していくことではないかと考える。その意味で、議会改革した結果、まちはどうなったのか、市民の暮らしはどうなったのかを知りたかったが、それだけの変化を知ることはできなかった。

様式 3

## 報告（広聴・住民相談）会報告書

平成29年3月31日

玉名市議会

議長 永野 忠弘 様

氏名 近松 恵美子



下記のとおり、開催しましたので報告します。

|       |  |      |     |
|-------|--|------|-----|
| 参加議員  | 近松 恵美子   |      |     |
| 日 時   | 平成28年11月6日（日）<br>午前10時～  |      |     |
| 場 所   | 岱明町公民館   | 参加者数 | 20名 |
| 会 議 名 | 議会報告会「10年後の私たちの暮らしはどうなるか」  |      |     |
| 内 容   | <p>医療、介護に対する国の動向と市の役割<br/>子どもの知的障害が急増していること<br/>地元の公民館建て替えに関する現状について</p> <p>以上、報告するとともにご意見を伺った。</p> <p>子どもの知的障害が急増していることに関しては、学校現場でも感じていることであるが、「対処の方法がない」ということで教育を進める必要があるとの認識を参加者とともに深めることとなった。</p> <p>公民館建設については、「現状がとても使いやすいので、今の状態の公民館が欲しい。」との声や麹室の在り方について質問があつた。</p> |      |     |